

早稲田スポーツ新聞会

(2016/10/29)

◇早稲田スポーツ新聞会とは？

→通称「早スポ」。1959年創刊。数ある学生新聞の中でも、特に長い歴史を持っています。現在は1年生から3年生、計151名が所属しており、一人約7つの部活の取材を担当しています。部員の数を生かし、44部全てを追いかけていることが早スポの強みです。ホームページ、そして年11回の新聞発行で、豊富な最新情報を提供しています。

◇スケート班について

→早スポには「スケート班」というものがあり、35名が所属しています。アイスホッケー、フィギュアスケート、スピードスケートの3部門全てをこの班で取材しています。

◇スケート部紹介

→今回は、今季から特に取材に力を入れ始めた、フィギュア部門の紹介をさせていただきます。

早大スケート部フィギュア部門は、荒川静香、中野友加里、村主章枝…と、かつて数々の名スケーターを輩出してきました。近年は鳴りを潜めていましたが、おとしし松嶋那奈選手が入学し、いきなり全日本選手権に出場。昨年からは山野井英未選手、そして通信教育課程ではありますが中塩美悠選手が加入し、女子は厚みを増しました。3人がようやく揃うかもしれない来季（18年1月）のインカレでは、団体優勝も夢ではありません。現在、主将は唯一の男性部員である礎良輔選手、監督はかつて全日本5連覇の偉業を成し遂げた“レジェンド”福原美和さんが務めています。なお、世界の羽生結弦選手は早大の通信教育課程に在籍していますが、スケート部には所属していません。いずれ取材できたら、と思っています。

◇選手紹介

フィギュア部門、注目の女子3選手をピックアップしました。



中塩美悠

(人通2 = 広島・ノートルダム清心)

経歴 JGP タリン杯優勝、JGP ファイナリスト、インハイ優勝、など

➡ 昨年の全日本、インカレはケガで欠場。今季は本拠地を西宮に移し、心機一転練習に励んでいます。笑顔いっぱいの弾ける演技は、20歳になっても変わりません。東インカレでは見事優勝し、東のファンの心もがっちり掴みました。

松嶋那奈

(スポ3 = 東京・駒場学園)

経歴 インハイ 7位、全日本 20位、関カレ優勝、など

➡ おとしし入学し、早大に新たな風を吹き込んだ少女も、今では立派な大黒柱。昨年わずか1.89点足りず届かなかった全日本出場へ向け、今季は好調を維持しています。一番の武器、高さのある3T-3Tは見ものです。



山野井英未

(国教2 = 千葉・渋谷教育幕張)

経歴 関東選手権 3位、関カレ 3位、アクアカップ優勝、など

➡ モデル業とも両立する美女スケーター。ジャンプの安定感が増した今季は絶好調でしたが、この夏留学のため渡米しました。今後の進退は未定ですが、また氷上で舞う姿を見たいです。

